

## 奥武蔵上名栗 白岩入ボルダー

令和元年 12 月 20 日 RCT/K

このボルダーエリアは、以前は「大鳩園ボルダー」と呼んでいたが、キャンプ場とはほとんど関係ないため、名称を「白岩入ボルダー」に変更した。なお M ボルダーは下が川になって取り付けないこと、大鳩園の有料駐車場の横で川に降りられないということもあってトライ禁止状態(トライしないほうが良い)である。

台風 19 号の後、暫くして 11 月上旬頃名栗方面に出かけてみた。豪雨の影響で、上名栗の名郷から大鳩園キャンプ場方面は道路陥没で通行止めとなっていたが、名郷鉦山からの回り道で白岩方面に入ってみると、沢筋は大荒れで、キャンプ場のバンガローは倒壊し、山中入方面は道路に土砂が流出して通行不能であった。白岩入方面は通行可能で、何台か奥まで車が入っており、沢筋のボルダーも大きなダメージを免れていた。

白岩溪流園付近から引き返し、その戻る途中、沢筋にきれいなボルダーが見えたので確認しに行ってみる。実は、このボルダーは、昔この付近のボルダーをトライした際に、そこそこ大きいのが、苔が酷い上に下地もあまり良好ではなかったため未トライのものであった。新たに確認してみると、増水した激流に洗われきれいに苔が落ち、下地もそれほど悪くはなく、なかなか魅力的なボルダーになっていた。

その後、数回下地や周辺の整備とトライに出かけ、何んとか遊べる程度にはなったので、ここに昔トライし既に紹介済みの N 岩と O 岩、及び新たにトライしたその周辺の小ボルダーを、以前紹介したページから分離して紹介したい。

岩質はチャートで、大きさは大小様々。シーズンは結露の酷い夏以外は大丈夫と思われるが、谷底で乾きが悪いので、雨後は期待しないほうが良い。

アクセスとアプローチは地図参照。駐車は各ボルダーへの降り口付近の道路のふくらみに可能だが、採石場のダンプ等が通るため、待避所と書かれたスペースは駐車禁止である。

令和元年 12 月現在、道路陥没の仮復旧は終わり、名郷から白岩入方面は普通に通行できるが、山中入方面は復旧作業が進んでおらず、途中から一般車では入れない状態となっている。



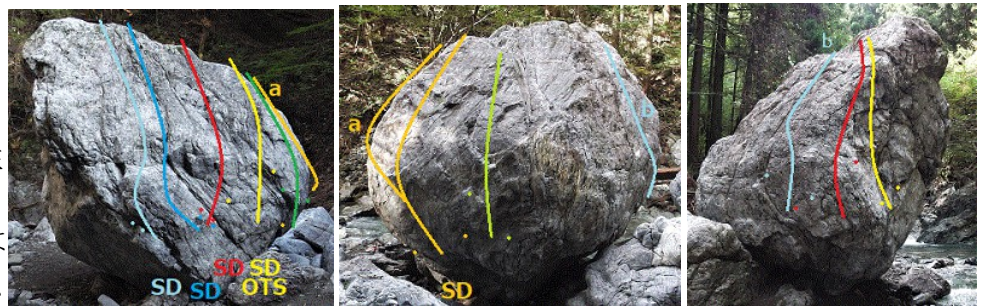
### 《課題紹介》

下流側から順番に紹介しているため、岩名は順不同である。

#### ●P 岩

トボ左:上流側 中央:山側 左:下流側

右岸の高さ 3m 程のボルダーで、周囲に課題があるが川側の面は川の中に落ちる可能性がある。また、山側のカンテ周辺課題の下地は岩がとび出ているので、上手くクラッシュパッド



を敷いた方が良いが、それでも注意が必要。上流側の黄色ラインは岩に腰かけてスタートするが、足の置き場がちょっと窮屈。

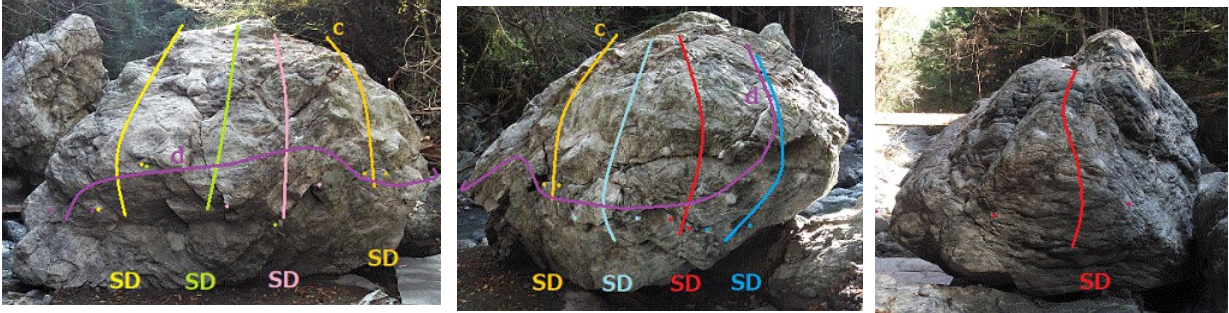
出だしが核心の課題が多く、上流側の青ライン、山側のオレンジライン、下流側の赤ラインなどがムーヴ的には面白い。



下流側の水色と赤ラインのSDスタートは、いろいろとトライしたが解決できなかった。上流側と川側面のコンタクトラインも面白そうだが、川に落ちたくないなので、ムーヴを探っただけで未解決。

### ●Q岩

トポ左:下流側 中央:道路側 右:上流側



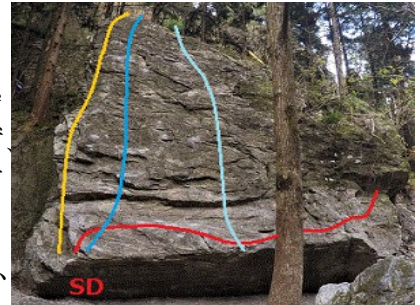
左岸の高さ2m弱の岩で、課題は全てSDで、道路側のハングの3課題(水色、赤、青)とトラヴァースライン(紫)、上流側の課題(赤)はそこそこ面白い。

### ●N岩

N岩は昔トライした6m程のハイボールで、昔のトラヴァース課題(赤ライン)は、下地が台風の影響で上昇してしまったので、少し砂と石を掻き出して整備をし再トライしたのだが、ムーヴが繋がらず極度に力が落ちていることを実感してしまった。もっと下地を掘り下げれば、また違うのかもしれない。

今回、上部まで苔を落とし、岩上までの新しい課題を追加したが、脆い部分があるので、クラッシュパッドは必ず使用した方が良い。

青ラインは左のカンテを使わない。ハーケン(昔のクライマーが打ったようだ)の打たれたガバを取るまでが、難しくはないがちょっと緊張する。

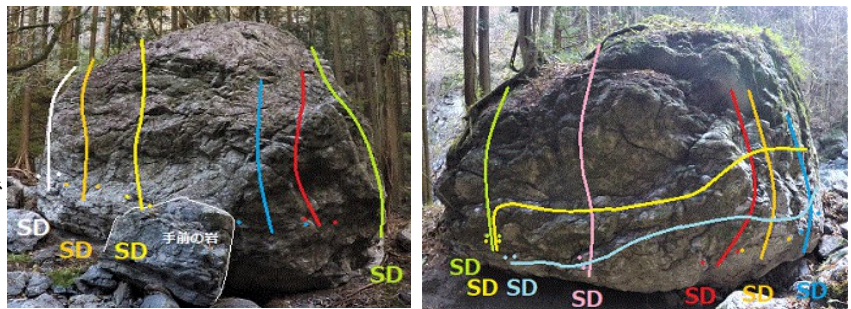


### ●O岩

トポ左:川側 右:道路側

O岩も昔トライしたボルダーである。

令和元年の台風19号の豪雨で大きなダメージはなかったが、下地が大分削れてしまったので下地を少し整備し、岩上部の苔とブッシュ、倒木を一通り取り除いた。更に、道路側の面が台風の影響できれいになっていた



ので、取り付けの水溜りの水を抜いて整地し、新たに課題を設定した。

川側は白ラインを除き、昔登った課題であるが、苔を落としたものの、まだ掃除不足である。道路側はガバの易しいラインが多いが、水色ラインは、ちょっとテクニカルで面白い。

### ●R岩&S岩&T岩

トポ左:R岩 中央:S岩 右:T岩



R岩は、O岩の道路側にあるボルダー。ガバの連続するトラヴァース課題は、スタートがちょっと窮屈。

S岩は、R岩のさらに道路側にある小さなボルダー。左手はリップ上、右手はカチホールドで身体を引き上げ、岩上にデッド。そこから左手で斜めのホールドを取るまでが核心。

T岩は、S岩の上流側にある小さなボルダー。両手マッチで引き揚げ、カチホールドにデッド。実質一手の課題。

### ●U岩&V岩

U岩は、O岩の上流側にある、2つ並んだ小さなボルダー。背の低いボルダーで、手数は少ないが、意外とボルダーチックで面白い。

V岩は、R岩の対岸にある小さなボルダー。

トポ左:U岩 右:V岩

